

執筆の合間にほっと一息ティータイム
——文豪たちのお茶の時間をご紹介します



企画展

作家たちの ティータイム

2024年

3月14日(木)

～ 5月19日(日)



開館時間／午前9時～午後5時15分
(入館は午後4時45分まで)

休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料／100円

- ・中学生以下、70歳以上、
障がい者とその付添人は無料
- ・家庭の日(毎月第3日曜日)は無料

主催／福井市、(公財)歴史のみえるまちづくり協会



福井市橘曙覧記念文学館

Fukui City Akemi Tachibana Literature Memorial Museum

幕末福井の歌人・橘曙覧が楽しみを詠んだ連作「独楽吟」には、お茶の時間を楽しむ作品があります。

企画展

作家たちの ティータイム

たのしみは木の芽^{こぎ}瀧^{たき}やして大きな
饅頭^{まんじゅう}を一つほほぼりしとき 曙覧

「木の芽」はお茶・煎茶のこと、「瀧やす」はお茶をいれること。楽しむなことは、お茶をいれて大きな饅頭を一つ口にほおばったときだ。——甘い物が大好きだった曙覧にとって、おいしいお茶と饅頭を食べるときは、至福のひとつときでした。

執筆や読書の合間、文豪たちもさまざまにお茶の時間を楽しみました。本展では、橘曙覧を入りに、泉鏡花、室生犀星、中野重治ほか、近代以降の文学者のお茶の時間にまつわる作品やエピソードをご紹介します。妻が丁寧にいれるほうじ茶を味わっていた作家や、毎日煎茶をたくさん飲んだお茶好きの作家など、12人の姿に注目します。

展示解説

4月20日(土)

5月12日(日)

14:00~(30分程度)

※予約不要、要観覧券



会期中のイベント

愛宕坂ふらっと音楽会 場所：館周辺

3月30日(土) 13:00~13:40/15:00~15:40

愛宕坂を楽しみながらふらっと歩きながらお楽しみください。参加費無料。



出演 こばとさんご

愛宕坂

茶道美術館

展示会の

ご案内

開館25周年・北陸新幹線福井開業記念 特別展

日本茶々茶お茶紀行 幻の茶を訪ねて



3月2日(土)~5月12日(日) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)
観覧料 300円(中学生以下、70歳以上、障がい者とその付添人は無料)

普段の暮らしの中では滅多にお目にかかることのない、日本全国13か所の「幻の茶」をご紹介します。バラエティーに富んだ日本のお茶の奥深さに触れてください。会期中、週替わりで展示中のお茶を味わうことができます(一杯200円)。くわしくは愛宕坂茶道美術館ホームページをご覧ください。

HP <https://www.fukui-rekimachi.jp/atagozaka/>

【交通のご案内】

JR西日本/福井駅より車(タクシー)で5分

コミュニティバスすまいる/福井駅西口のりば 照手・足羽方面ゆき
「愛宕坂」下車 徒歩1分

京福バス/福井駅西口のりば 運動公園線(道守高校先回り)または清水
グリーンライン「久保町」下車 徒歩2分

自動車/北陸自動車道福井I.Cより 約15分



福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007 福井県福井市足羽 1-6-34 TEL/0776-35-1110 FAX/0776-33-3933 <https://www.fukui-rekimachi.jp/tachibana/>